

科目名	実習Ⅱ-B	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	180	作成者	酒井 知可子

**【科目の到達目標】**

レディスウエアの基本アイテムであるジャケット(チャック柄テーラードカラー・ショールカラー)、コート(ラグランスリーブ・フライフロント)、  
カットソー、部分縫いにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。

**【科目の概要】** ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。  
企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。

**【授業計画】**

90分/コマ	前期	後期
1・2	部分縫い 箱ポケット	31・32 カットソー概論(ミシン講習)
3・4	部分縫い ファスナーポケット	33・34 カットソーパターン
5・6	部分縫い 雨蓋ポケット	35・36 カットソー裁断
7・8	ショールカラーのジャケットの製図	37・38 カットソー縫製
9・10	ショールカラーのジャケットの裁断	39・40 カットソー縫製
11・12	ショールカラーのジャケットの縫製	41・42 チェックテーラードジャケットの裁断
13・14	ショールカラーのジャケットの縫製	43・44 チェックテーラードジャケットの裁断
15・16	ショールカラーのジャケットの縫製	45・46 チェックテーラードジャケットの縫製
17・18	ショールカラーのジャケットの縫製	47・48 チェックテーラードジャケットの縫製
19・20	ショールカラーのジャケットの縫製	49・50 チェックテーラードジャケットの縫製
21・22	ショールカラーのジャケットの縫製	51・52 チェックテーラードジャケットの縫製
23・24	部分縫い 薄物始末	53・54 チェックテーラードジャケットの縫製
25・26	部分縫い 薄物始末	55・56 チェックテーラードジャケットの縫製
27・28	ショールカラーのジャケットの縫製	57・58 チェックテーラードジャケットの裁断
29・30	ショールカラーのジャケットの縫製	59・60 チェックテーラードジャケットの裁断
		61・62 チェックテーラードジャケットの縫製
		63・64 チェックテーラードジャケットの縫製
		65 チェックテーラードジャケットの縫製
		66・67 ラグランスリーブのコートの製図
		68・69 ラグランスリーブのコートの裁断
		70・71 ラグランスリーブのコートの縫製
		72・73 ラグランスリーブのコートの縫製
		74・75 ラグランスリーブのコートの縫製
		76・77 ラグランスリーブのコートの縫製
		78・79 ラグランスリーブのコートの縫製
		80・81 ラグランスリーブのコートの縫製
		82・83 ラグランスリーブのコートの縫製
		84・85 ラグランスリーブのコートの縫製
		86・87 ラグランスリーブのコートの縫製
		88・89 ラグランスリーブのコートの縫製
		90 ラグランスリーブのコートの縫製

**【成績評価方法】**

作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締め切り期日の厳守)  
指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

**【教科書・参考書】**

『ジャケット』『コート』『テーラリング』上田安子服飾専門学校 最新版  
・教員作成のオリジナルプリント

**【教材・教具】**

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式  
実物または部分縫いの見本

科目名	ゴシック&ロリータファッション商品製作 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	江田 泉

【科目の到達目標】

実物製作により、デザイン・パターンメイキングを含めた総合的な服作りを習得する。  
また産業界の制約を知り、ゴシック&ロリータファッションの商品企画全般の仕事を実践し修得する。

【科目の概要】

ゴシック&ロリータファッションの実物製作によりデザインから縫製技術までの一貫した知識と技術を学ぶ。  
トータルコーディネート提案出来る形で商品を製作し発表する。

【授業計画】

後 期

90分/コマ

	<p><b>ゴシック&amp;ロリータ作品(企業コラボレーション作品)</b> パニエ～コルセット～ワンピースをワンルックスでスタイリングできるように素材をコーディネート 企業コラボ、オリジナルプリント柄など、外部に広報できる商品を企画する 市場調査などで仕様を研究し、既製服としての品質基準を理解する</p>
1	<b>パニエ</b> パターン作成
2	裁断
3～8	縫製
9	<b>コルセット(カップなし)</b> パターン作成
10	裁断
11～16	縫製
17・18	<b>ワンピース</b> デザイン出し・パターン作成
19・20	トワール組み立て
21・22	トワールチェック・補正・工業用パターン作成
23・24	裁断・芯貼り・テープ貼り
25～29	縫製
30	発表・提出

【成績評価方法】

実物作品の評価	60%
期末試験の評価	30%
授業態度	10%

【教科書・参考書】

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版  
『スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、テーラリングテクニック』上田安子服飾専門学校 最新版  
・教員作成オリジナルプリント

【教材・教具】

ミシン等縫製機器・洋裁用具一式  
実物または部分縫いの見本など

科目名	クリエイションテクニック	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	120	作成者	酒井 知可子

**【科目の到達目標】**  
 レディースウエアの基本アイテムであるシャツ、パンツにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を修得する。また、企業研究に基づいた、各企業に提案出来る創作作品を製作する。

**【科目の概要】** ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。  
 企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1	シャツの製図	31・32	創作作品(上田学園コレクション作品または企業アプローチアイテム)の製図
2・3	シャツの裁断	33・34	創作作品(上田学園コレクション作品または企業アプローチアイテム)のパターン
4	シャツの縫製	35・36	創作作品(上田学園コレクション作品または企業アプローチアイテム)の仮縫い
5・6	シャツの縫製	37・38	創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の裁断
7・8	シャツの縫製	39・40	創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の裁断
9・10	シャツの縫製	41・42	創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
11・12	シャツの縫製	43・44	創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
13・14	スラックスの仮縫い準備・仮縫い	45・46	創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
15	スラックスの仮縫い・補正	47・48	創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
16・17	パンツのパターン展開・仮縫い	49・50	創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
18	パンツパターン作成	51・52	創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
19・20	パンツの裁断・縫製	53・54	創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
21・22	パンツの縫製	55・56	創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
23・24	パンツの縫製	57・58	創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
25・26	パンツの縫製	59・60	創作作品のプレゼンテーション
27・28	パンツの縫製		
29・30	パンツの縫製		

**【成績評価方法】**  
 作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締め切り期日の厳守)  
 指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

**【教科書・参考書】**  
 『ブラウス』『パンツ』『ワンピース』上田安子服飾専門学校 最新版  
 ・教員作成のオリジナルプリント

**【教材・教具】**  
 ミシン等縫製機器、洋裁道具一式  
 実物または部分縫いの見本

科目名	パターンメイキングⅡ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	宮田 共子

【科目の到達目標】

理論を技術に結びつける。アイテムのパターンをデザイン画を見て表現できるようになる

【科目の概要】

時代のデジタル化に伴い、ファッション業界におけるパターン分野では3DやCADの多様化が進んでいる。しかしパターンの基礎・応用が確立した上でのデジタル化が必要不可欠である。この科目では原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	パンツ バギー・ベルボトム		31 パターンメイキング概論
2	ペグトップパンツ・フレアーパンツ		32 身頃の展開カット無し+1枚袖 半身トワール組み
3	スラックスパターン作成(自分サイズ)		33・34 身頃の展開カット有り+1枚袖 半身トワール組み
4	デザインパンツ 製図		35・36 レディース台襟シャツ
5・6	トワール組み		37・38 トワール組、工業パターン作成
7	ダーツ操作のバリエーション ウエスト		39・40 テーラードジャケット
8	センター・ゴージ		41・42 トワール組
9	ショルダー・アームホール		43・44 工業用パターン作成
10	襟のバリエーション スタンドカラー2種		45・46 工業パターン作成 (見返し、表襟展開)
11	シャツ・台襟シャツ		47・48 マニプレ展開
12	フラットカラー・ステンカラー		49・50 メンズシャツ 製図、パーツパターン抜き出し
13	袖のバリエーション 谷1/3・3/1-1.5		51 トワール組み
14	谷1/3-5		52 子供服 原型、子供ワンピース
15	タック・フレアー・ランタン		53 トワール組み
16	ペタル・ジゴ		54・55 ジーンズ 製図、パーツパターン抜き出し
17・18	創作 上記の中からダーツ操作身頃+襟+袖1体トワール組・工業パターン作成		56 脇ポケット
19・20			57 トワール組み
21・22	BEACH WEAR		58 工業パターン作成
23・24	トワール組(中縫いミシン)補正後、工業パターン作り		59・60 まとめ
25	身頃続きの袖(マチ)		
26	三角マチ、ひし形角マチ、五角マチ		
27・28	トワール組み		
29	スカートのバリエーション		
30	トワール組み		

【成績評価方法】

課題の評価60%

期末試験の評価30%

授業態度の評価10%

【教科書・参考書】

服飾手帖社『パターンメイキングⅡ』 江副玲子『パターンメイキング』 最新版

山路俊美 『メンズ製図集抜粋』 配布プリント

【教材・教具】

製図用具、模造紙、製図用シャープペンシル カッター、メンディングテープ、ドラフトテープ

トワール、シルクピン、ミシン用具

科目名	ドレーピング I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	渡辺 杉子

【科目の到達目標】

ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに出来る。

【科目の概要】

立体製図(ドレーピング)技術を習得することで、今日アパレルメーカーで求められるスピード感や、新しい素材や難しいデザインに対応出来るスキルを獲得する。凸凹のある女性の体(ボディ)に布地(トワール)を合わせてゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作る技術、およびこれを平面パターンにする方法を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期
1、2	「ドレーピング概論」 ・ボディ、トワールの扱い方の講義
3、4	ショルダーカット(ダーツ)
5、6	アームホールカット(ダーツ)
7、8	サイドカット(ダーツ)
9、10	ウエストカット(ダーツ)
11	ステンカラー カットで作った身頃を使用
12	ピーターパンカラー カットで作った身頃を使用
13	台襟付きシャツカラー カットで作った身頃を使用
14	開襟シャツカラー カットで作った身頃を使用
15、16	タイトスカート
17	タイトスカートのパターンどり
18	フレアースカートの製作
19、20	ジャケット テーラードカラー(ショルダー切替)
21、22	テーラードカラー(上記のジャケット)
23、24	一枚袖(上記のジャケット)
25、26	身頃の復習(ダーツ)
27、28	まとめ
29、30	前期試験

【成績評価方法】

課題作品の評価 60% 期末試験 30%・・・評価シートによる 授業研究態度 10%

【教科書・参考書】

江副玲子『ドレーピング』最新版

【教材・教具】

トワール、シルクピン、黒綿テープ、アイシーテープ、はさみ、メンディングテープ、カッター、製図道具、模造紙、製図用シャープペンシル

科目名	ファッションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

前期		後期	
90分/コマ			
1	ヌードボディの表現	16	画材表現(ガッシュ)
2	ヌードボディの表現	17	画材表現
3	顔、ヘアスタイル、足、靴の表現	18	画材表現(マーカー)
4	顔、ヘアスタイル、足、靴の表現	19	画材表現
5	着装表現①(男性的ディテール表現)	20	画材表現(パステル)
6	着装表現①(男性的ディテール表現)	21	画材表現
7	着装表現②(女性的ディテール表現)	22	アイテム画の表現(ボトムス)
8	着装表現②(女性的ディテール表現)	23	アイテム画の表現
9	着装表現③(その他応用表現)	24	アイテム画の表現(トップス)
10	着装表現③(その他応用表現)	25	アイテム画の表現
11	デザイン画選手権の作品制作(ラフ)	26	メンズ表現
12	デザイン画選手権の作品制作(下絵)	27	メンズ表現
13	デザイン画選手権の作品制作(下絵)	28	キッズ表現
14	デザイン画選手権の作品制作(着色)	29	キッズ表現
15	デザイン画選手権の作品制作(着色)	30	期末試験

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年  
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	ゴシックロリータファッション論 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義50% 実習50%
時間数	30	作成者	山本廣道
<b>【科目の到達目標】</b>			
ゴシック&ロリータを理解するための基礎知識を習得する。また美術、文学、音楽、映画、建築などの関連性を理解し、多面的視点から、今後のゴシック&ロリータの方向性を示唆する。			
<b>【科目の概要】</b>			
「ゴシック&ロリータ」の起源を理解するため18世紀のロココ、新古典、ロマン(ネオロココ)時代とイギリス産業革命期におけるビクトリア女王とゴシックリバイバルの関係性を考察する。また日本の70年代以降レディスKAWAIIファッションの確立期、ディズニープリンセス系、フォークロア、エスニック、ボヘミアン、ゴスロリ、森ガールの大きな流れを捉える。			
<b>【授業計画】 90分/コマ</b>			
1	オリエンテーション「ゴシック&ロリータMyイメージマップ」作成		
2	イメージマップ完成&プレゼン発表		
3	フランスのロココ、新古典、ロマン(ネオロココ)の概要		
4	現在の末裔:ディズニープリンセス系とシンデレラ城、原宿サブカルとロリータ		
5	イギリス産業革命とビクトリア女王統治時代のゴシックリバイバルの概要		
6	コルセットの歴史		
7	ロンドンパンク、ネオゴシック、ニューロマンティック、ヴィジュアル系、ダークファンタジー		
8	テスト:現在の末裔:ヴィヴィアンパンク、アレキサンダーマックイーン、ガレスピュウ		
9	日本でのゴシック&ロリータ、KAWAIIの展開①70年代MILK大川ひとみ、PINKHOUSE金子功		
10	日本でのゴシック&ロリータ、KAWAIIの展開②70年代KENZO高田賢三とフォークロア、ボヘミアン		
11	日本でのゴシック&ロリータ、KAWAIIの展開③70年代アイドルとセーラー服カルチャー		
12	日本でのゴシック&ロリータ、KAWAIIの展開④70年代大阪万博コンパニオンとCA制服の黄金期		
13	日本でのゴシック&ロリータ、KAWAIIの展開⑤80年代メイド服と日本型ヴィジュアル系		
14	現状のゴシック&ロリータと今後の展開		
15	テスト		
<b>【成績評価方法】</b>			
提出物25%+学期末試験25%+出席40%+授業態度10%			
<b>【教科書・参考書】</b>			
授業時にプリントや資料を配布			
<b>【教材・教具】</b>			

科目名	ファッションデザイン論Ⅱ-C	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 35% 実習 65%
時間数	90	作成者	濱屋 但 山本廣道
【科目の到達目標】 多様化するファッション業界の現状とマーケットのあり方を分析し、アパレル企画を立案する。 合わせて発想力・表現力・分析力・計画性などを修得する			
【科目の概要】 1年次に学んだ基礎知識をもとに、新たな情報やトレンドなどをプラスして表現する			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1	授業概要と企画立案の手順		31 デザイン発想①
2	プレタポルテシャツデザイン		32 "
3	"		33 "
4	企業コラボコンテスト①		34 プレゼンテーション
5	"		35 デザイン発想②
6	"		36 "
7	"		37 "
8	プレゼンテーション		38 プレゼンテーション
9	企業コラボコンテスト②		39 プレタポルテ企画
10	"		40 "
11	"		41 "
12	"		42 プレゼンテーション
13	プレゼンテーション		43 プレタポルテデザイン画
14	外部コンテスト①		44 "
15	"		45 まとめ、テスト
16	"		
17	"		
18	プレゼンテーション		
19	外部コンテスト②		
20	"		
21	"		
22	"		
23	プレゼンテーション		
24	上田学園コレクションデザイン		
25	"		
26	"		
27	"		
28	"		
29	プレゼンテーション		
30	まとめ、テスト		
【成績評価方法】 課題 60%(小テスト含む) 試験 30% 出席 10%			
【教科書・参考書】 スタイリングブック WWD 他			
【教材・教具】 筆記用具 着色用具 ファッション雑誌 他			



教科名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義100%
時間数	30	作成者	河本 育子

**【授業の到達目標】**

ファッション業界での素材の位置づけ、役割を体系的に理解し、素材の知識を深めていく。  
市場動向を読み取り、そのコンセプトにあったデザイン、素材に落とし込めるようになる。

**【授業概要】**

ファッショントレンドと素材の関連性を意識、また市場の動向を踏まえながら、  
アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

**【授業計画】**

- 90分/コマ
- 第1週 オリエンテーション
  - 第2週 素材とファッショントレンドの関係について  
■アパレル製品の生産流通経路(1)
  - 第3週 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
  - 第4週 産地  
■布地 織物
  - 第5週 ■布地 編物
  - 第6週 布地まとめ
  - 第7週 ■糸の種類と太さ
  - 第8週 ■繊維の種類と特性
  - 第9週 天然繊維(植物繊維)  
天然繊維(動物繊維)
  - 第10週 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
  - 第11週 化学繊維(合成繊維)
  - 第12週 ■素材の機能性
  - 第13週 ■生地加工 染色・プリント・仕上げ
  - 第14週 総復習(テスト傾向と対策)
  - 第15週 総合テスト

**【成績評価方法】**

平常点(授業態度)10% 理解力(小テスト,総合テスト)50% 提出物40%  
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

**【教科書・参考書】**

- ・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社2012年
- ・田中道一『洋服地の事典』関西衣生活研究所

**【教材・教具】**

筆記用具

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80% 実習 20%
時間数	30	作成者	杉本 晋一

**【科目の到達目標】**

時代によって変遷する服飾デザインと人間の志向してきたイメージを理解する。  
また、その時代背景や美術・建築・風俗などの文化状況との関連性から文化装置としてのファッションの意義と役割を考察できる知識を修得する。

**【科目の概要】**

服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。  
また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。

**【授業計画】**

90分/コマ

- |    |                               |
|----|-------------------------------|
| 1  | 服飾史概論1                        |
| 2  | 服飾史概論2                        |
| 3  | 服飾の始原<br>原始の服飾                |
| 4  | 古代エジプトの服飾<br>古代ギリシア・ローマの服飾    |
| 5  | ゲルマン民族の服飾<br>中世・中世末期の服飾<br>演習 |
| 6  | ルネッサンス(イタリア・ドイツ)の服飾           |
| 7  | ルネッサンス(スペイン・英仏)の服飾<br>演習      |
| 8  | バロックの服飾                       |
| 9  | ロココの服飾                        |
| 10 | フランス革命の服飾<br>演習               |
| 11 | ロマンチック時代の服飾                   |
| 12 | 19世紀後半から20世紀初頭の服飾             |
| 13 | デザイナーの登場<br>シャネルとスキャパレリ       |
| 14 | 戦後から現代の服飾                     |
| 15 | テスト                           |

**【成績評価方法】**

平常点 20% 課題20% 期末試験 60%

**【教科書・参考書】**

小西松茂『西洋服飾史』服飾手帖社 昭和50年,

**【教材・教具】**

筆記用具

科目名	コンピュータ演習 II	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	安田 圭織
<b>【科目の到達目標】</b>			
パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につける。Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使しポートフォリオが作成できる。 アパレルCADを利用したパターンを作図する方法を理解する。			
<b>【科目の概要】</b>			
情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。 このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、 使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。			
<b>【授業計画】</b>	90分/コマ		
1	自己PRシート作成(写真を撮影し画像処理)		
2	" ロゴマーク作成		
3	ポートフォリオ作成 ポートフォリオの考え方(要素・機能・効果)		
4	" スキャナーなどからの画像の取り込み方(画像解像度を理解する)		
5	" レイアウトの基礎マップ作成 Photoshopを使った画像合成		
6	" ハンガーイラストの描き方 Illustratorを使ったペンツールなどのテクニック		
7	" デザイン画の着色方法 線画に着色、柄を作成し着彩する		
8	" Photoshop作成画像をIllustratorでレイアウトするしポートフォリオを完成する		
9	CAD	タイトスカート パターン作成(Pattern Magic)	
10		ハンガーイラスト作成(縫製仕様書)	
11		タイトスカート2本ダーツ製図	
12		表地工業用パターン作成 裏地工業用パターン作成	
13		マーキング(Marker Magic) 仕様書指示書作成	
14	まとめ		
15	テスト		
<b>【成績評価方法】</b>			
提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する			
<b>【教科書・参考書】</b>			
コンピュータ演習*アパレルCAD*			
<b>【教材・教具】</b>			
プリント配布 データ配布 フラッシュメモリ 筆記用具			

科目名	ファッションビジネス論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義70%実習30%
時間数	30	作成者	中筋義純

**【科目の到達目標】**

- ・ファッションを通してビジネス(仕事)の流れを理解し知識や考え方の基礎を身につける。
- ・何故そうなのか、どうすればより良いか、という事を常に意識する習慣を身につける。
- ・ファッションをビジネス(儲ける為の方法)として捉えられる感覚を身につける。

**【科目の概要】**

- ・ファッション、アパレル業界の辿ってきた変化や仕組みと職種及び仕事の流れを理解し今後の展望について考える。
- ・利益の種類及び事業を持続する為に儲ける事の重要性をファッションビジネスに落とし込んで考える。
- ・ファッションビジネスにおけるブランドの意義と重要性を模擬ブランドを作る事によって理解する。

**【授業計画】**

90分/コマ

- 1 ファッションの魅力とファッションビジネスの現状についての講義
- 2 ファッションビジネスの変化、SPAの出現についての講義
- 3 アパレル企業のビジネスの仕組みについての講義①
- 4 アパレル企業のビジネスの仕組みについての講義②
- 5 アパレル企業のビジネスの仕組みについての講義③
- 6 ファッションビジネスのマーケティングについての講義①
- 7 ファッションビジネスのマーケティングについての講義②
- 8 マーチャンダイジングについての講義①
- 9 マーチャンダイジングについての講義②
- 10 ブランド設立の為に企画書作成についての講義
- 11 ブランド設立の為に企画書作成の実習①
- 12 ブランド設立の為に企画書作成の実習②
- 13 ブランド設立の為に企画書作成の実習③
- 14 ブランド設立の企画書のプレゼンテーション
- 15 期末筆記試験

**【成績評価方法】**

・プレゼンテーション40% ・ 授業における評価30% ・ 期末試験30%

**【教科書・参考書】**

プリントを配布

**【教材・教具】**

ノート ・ 筆記用具